

横浜校舎学生スタッフ活動報告

2007 年度、横浜学生スタッフは多くの学生にボランティア活動に取り組んでほしいと考え、総勢 20 名で活動に取り組んできた。学生が気軽に立ち寄れるボランティアセンターにすることと、学生の視点でコーディネートを行うことを活動方針として、様々な活動を行ってきた。これから、横浜学生スタッフの主な活動について報告する。

1. 年間を通した活動

<学生スタッフミーティング>

授業期間の週一回、月曜日開催を原則とした。これからの活動をどのように行うか、また学生スタッフの現状や活動の報告、ボランティア情報の共有、新企画の練り上げなどを4月加入の新スタッフを含めた横浜スタッフ全員で話しあった。ミーティングは私たちスタッフ間のコミュニケーションの場でもあり、さまざまなことを吸収しあうことができた。

<情報提供と体験の共有>

ボランティアセンターを訪れる学生に向けて、以下の活動を行った。継続する難しさもあったが、続けているからこそ利用学生の反応の変化を知ることができた。

・ 火・金コーディネート

学生がボランティアセンターに立ち寄っても、学生スタッフがいらないという事が多かったため、昨年度の秋学期から火曜日と金曜日に学生スタッフが昼休みにボランティアセンターにいて対応する時間を設けている。私達は回数を重ねるごとに学生との関わり方を学び、コーディネートの楽しさを感じることができた。また、もっと学生に気軽に来てもらうためにはどうしたら良いのかと考え、立て看板を作成したり、ポートヘボンに載せたりといった活動も行って、少しずつ学生が立ち寄りやすいボランティアセンターになっていったように思う。今後も、多くの学生が利用するボランティアセンターにしていくよう試行錯誤しながら活動をしていきたい。

・ 分野別チーム活動

昨年度から始めたこの活動は、学生スタッフのおすすめする情報を掲示板に毎月2回更新していくもので、ボランティアセンターに立ち寄る学生が増えた要因となり、コーディネートをする時にも役立っている。これからはこの活動をどう発展させていくかが課題となるだろう。

・ みんなのあしあと

ボランティア活動に参加した学生が活動を通して感じた楽しさや気づきを、多くのひとに伝えるために今年始めた新企画である。横浜ボラセン内の掲示板に「あしあとノート」を置いて自由に感想を書き込めるようにし、このノートなどからピックアップしたボランティア体験をカードに書き起こしてカラ

フルに展示している。このカードは月に2回更新されるが、現段階ではまだまだ認知度が低いため、これからさらに活用できるようにしたい。

2. 企画・イベント

2007年度は白金校舎学生スタッフとの連携もあり昨年にも増して活動を活性化させることができた。

<ボランティア系サークル合同説明会>

毎年4月に行っているもので、ボランティア系サークルが集まり活動紹介や情報提供を行うことで、新入生にボランティアに関心を持ってもらおうという企画である。今年度はプレゼン形式とブース形式を用いて、学生がボランティア情報に直接触れる機会を多くした。

<横浜ボランティアセンター研修会>

毎年5月に行っていた研修合宿の代わりに2007年度は研修会を行った。4月に加わった新スタッフを対象とする企画で、これからの活動目標や、ボランティアセンターの活動・目的などについて知るために実施した。また、各企画に携わる上級生の意識も向上し、知識も身に付いた企画だった。何よりも、この研修を通して4月から共に横浜ボランティアセンターで活動していく仲間としての交流が深まった。

<Let's Try! ボランティア>

昨年度も行ったこの企画は今年度も春・夏の2回実施した。「初めてだからどうしてかわからない、一人だと不安」などといった学生を、少し後押しする企画である。学生スタッフが受入先との調整や、学生への広報、当日の活動をサポートした。参加学生の多くはボランティア体験が初めてで、企画の主旨に添った活動ができたと思う。しかし、参加学生との連絡体制や、ボランティア先とのやりとりなどに問題が生じた。これらのことを改善していくことと、学生スタッフの企画立案をどう発展させていくかを今後は考えていきたいと思う。

<ボラセン☆通信>

「ボラセン☆通信」は学生スタッフが年に数回発行している冊子で、今年度から白金校舎と横浜校舎とで分担し、両校舎で情報を出し合い記載して作成している。今年度は発送先の見直しも行った。新しいスタイルで始めた「ボラセン☆通信」に今後を期待したい。

3. おわりに

今年度は白金校舎の学生スタッフとつながりを持つことにより今まで以上に情報を学生に伝えることができた。一方でボランティアセンターが大学の組織の一つであることを再確認し、自分達の存在を改めて考えるきっかけとなった。「学生スタッフとは何なのか?」と考えるのではなく、「自分は何がしたいのか?」ということを考えることが大切だと思った。今後はもっと活動を活性化していけたらと思う。

(横浜学生スタッフチーフ 2年 永戸 夏美)